

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2570101374		
法人名	医療法人誠仁会		
事業所名	ぐるーぷほーむ木一		
所在地	大津市里五丁目2番60号		
自己評価作成日	令和5年5月5日	評価結果市町村受理日	令和5年8月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)
 基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会		
所在地	滋賀県草津市笠山七丁目8番138号 滋賀県長寿社会福祉センター内		
訪問調査日	令和5年6月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者お一人お一人が安心して安全な日常生活を過ごして頂けるよう支援している。個々の認知症・身体症状を理解し、できる限りの残存能力の維持に努めている。コロナの状況もみながら、ご家族様との面会や外出をはかったり、職員付き添いのもと中庭へ出て外気浴や散歩をし気分転換をはかりストレスを抱え込まないようにしている。社会とのつながりを持ち続けていけるよう、自治会や地域の催しに積極的に参加し、交流を図れるようにしている。また、個々の希望やニーズに対し、職員が前向きに話し合い、出来る限り実現に向けた取り組みをしている。職員に於いても、経年数だけでなく、皆が誠実で前向きに、介護職員としての意識を向上させるため、研修や勉強会の企画・参加、資格取得などのスキルアップを支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

緑豊かな中庭には、多くのベンチが配してあり、外気浴をしながら軽い散歩で気分転換が楽しめる。ユニット間を自由に行き来できる共有空間には、落ち着いた家具やソファ・飾り物があり優雅な雰囲気がする。さりげない見守りの中、利用者はそれぞれ自分好みの雰囲気の中で過ごされている。「特別なニーズと願望に応えるように最大限に努力する」を念頭に一人ひとりの思いを汲み取り実践に向けて職員間で話し合い前向きに努力している。今年度からは地域行事も通常となり近隣との付き合いや行事への積極的な参加を開始している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念「特別なニーズと願望に応えるよう最大に努力する」に基づき、地域密着型サービスの意義に添い、日々理念のより深い理解に努め業務にあたっている。	事業所の理念を全職員に周知して理解を深め、会議でも振り返り確認、共有して実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所として平成29年度より自治会に加入させて頂いている。コロナ禍により運営推進会議が出来ずにいたが、本年度7月から再開予定。また、自治会の回覧板を回していただく事にもなり、地域の催しにも積極的に参加するようにしている	今年度より地域の行事への参加を再開している。5月の地域の祭りでは職員がおみこしをかつぎ交流を図った。近隣へ回覧板を利用者とともに回しに行き話をする等のつながりが出来ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入所問い合わせや申し込み時に、質問や困っていることなどをお聞きし相談しやすい環境を作っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍であり、皆様集まっただけの会議がまだできていないが、文書により取り組み状況等をお知らせしている。本年度7月より再開し、顔を合わせての意見交換ができるようになる。	コロナ禍は、書面での報告が主であったが今年度7月からは、運営推進会議の現メンバーに加え、大家族へ呼びかけ参加での活発な情報交換や意見交換となるよう検討している。	活発な意見交換が出来る事を期待しています。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営に関し分からない事があれば連絡をしご指導頂いている。また、市から連絡があれば、速やかに対応している。	必要時には市の窓口へ出向いて相談したり電話で市担当者との連携を取り合い情報を共有する関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開所以来、法人全体の共通理念として、身体拘束は原則行わない。玄関の施錠も夜間以外は行わず、入居者様の行動を制約する事なく見守りを徹底している。身体拘束の理解を深めるため、委員会や勉強会に参加し伝達・勉強会をしている。	年2回は、法人全体で虐待防止と身体拘束をしないケアの研修を全職員が受講して再確認をしている。利用者、一人ひとりの特性を把握して、見守りを徹底し抑圧感のない自由な暮らしの支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の理解を深めるため、委員会や勉強会に参加し伝達している。また、各々が自覚を持って業務にあたるのは勿論のこと、職員同士が注意し合えるよう教育している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の理解や、入居者様の正当な権利の主張ができるよう後見人の方とも情報共有ができるようにしている。また、勉強会を通して職員全員が制度を知り、理解できるよう取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には契約書・里説・運営規定等について説明し捺印していただいている。ご質問いただいた事にも迅速にお答えしご理解頂いている。変更等があった際も、説明したうえでご理解いただき捺印していただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話などでご家族様とお話する機会をもうけ、その都度ご意見やご要望等を伺い職員と共有している。こちらから話を持ち掛けるようにし、ご家族様が意見や要望を言いやすい環境作りをしている。	コロナ禍は、制限付きの面会ではあったが来訪時は意識的に意見や要望を伺った。また必要物品依頼の連絡時には、日頃の暮らしの様子を伝え思いや意見を聞き職員間で共有し反映に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット内、全体で会議やミーティングを実施し、職員の意見を聞くようにしている。言い出しにくい職員もいるため、事務所に意見箱を設置し、気軽に意見や相談等が言えるような環境作りをしている。	管理者はいつでも意見や提案が出来るよう意見箱を設置したり意識的に聴くようにしている。勤務年数に関わらず会議や日頃のミーティングでも意見や提案はしやすい雰囲気であると職員より聞き取った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者・リーダーが日頃の勤務状況などの把握に努め、定期的に確認している。また、個々の面談を行い、職員の意識向上をはかっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	GH会議内で定期的に勉強会を開催している。また個々の知識・技術の習得状況を把握し、その職員に必要な知識・技術を都度指導している。個々の個性や考え方も理解し、それぞれにあった指導方法を実施するようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大津市南地域の在宅医療を支える研修「チーム洗堰」に参加。今後も可能な限り参加していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前より面談を行い、世間話などを通じて話しやすい雰囲気作りを心がけている。また、その話の中から、ご自身の要望や不安などを聞き、感じ取り安心していただけるよう働きかけてる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前よりご家族様とも面談を行い、困っている事や不安、この先の要望等をゆっくりと聞き、安心していただけるように働きかけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談で聞き取りした中で、必要な支援は何かを計画作成担当者と話し合っている。また、法人他事業所とも連携を図り、ニーズにあったサービス支援が出来るようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたんだり片付けたりなど、生活の一部を一緒に行うようにし、職員をより身近に感じて頂ける様なコミュニケーションを図っている。同じ時間に一緒に何かをする事で安心感をもってもらい、信頼関係の構築を図っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が面会に来られた際など、ご本人の近況を伝えるとともに、ご本人とご家族様がゆっくりとお話していただける空間や時間を作るようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀状のやり取りや、電話など、出来る限り交流が継続できるよう支援している。出身地や以前住んでおられた頃のお話を伺い、懐かしむと共に、いつかまたあの人に会いたい、あの場所に行きたいと活力を持っていただけるようにしている	コロナ禍で目撃される方が多く直接の交流は少なかったが手紙や電話の取次ぎ等につながりながら継続できるよう支援している。職員は、馴染みの人や懐かしい場所の話題を提供し利用者の意欲につながるよう努めている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格でぶつかる事もあるが、その中でもどのように関わられるかを探っている。時には職員が間に入り、良い関係性が作れるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も繋がりは途絶えておらず、ニーズがあれば、相談・援助を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人からの希望や意向は勿論ではあるが、ご家族様の意向もくみ取るようにしている。双方で意向が異なる事もあるが、出来る限りご本人の希望に添った支援ができるように職員で検討している。	暮らしの中での何気ない言葉や表情から、何をしたいか、どんな思いなのかを汲み取るよう努めている。把握した一人ひとりの思いに出来る限り応えられるよう職員間で検討し共有して支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしを出来る限り継続していただけるよう、事前の聞き取りにて居室環境や日課等を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌や申し送りなどを通し、職員間での情報共有をしお一人お一人の心身状態や変化の把握をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1ヶ月毎の総評、3ヶ月毎のモニタリングを実施し計画がご本人に沿ったものであるか確認している。担当者会議では、アセスメント・ケアプランの作成を行いご家族様のご意見も伺い、ご本人のニーズに沿ったプランになるように作成している。	本人・家族の希望や思いを聞き取り現状に即した介護計画を作成している。個別記録や担当職員からの意見を参考にしながらモニタリングを行って家族等に説明している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌やケース記録に記入するだけでなく、居室担当者が発信者となって口頭でも意見を出し合い、情報共有できるようにしている。意見を出し合うことで、皆で考えるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々変化していく状況やニーズにどう対応するか、様々な方面から支援方法を職員皆で考え、柔軟に実践できるように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市民センターで活動されている方よりお声がけいただき、コーラスに参加させていただいた。今後も、体操やふれあいサロンなどに参加し豊かな暮らしをしていただけるように計画している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医である吉徳医院と密に情報共有し、月に1回の定期受診の他、主治医指示のもと臨時受診もおこなっている。	主に提携医による通院や仕診で健康管理されている。他科への受診が必要な時は、紹介状が出される。通院は基本家族同伴であるが職員が行くこともある。診療情報は関係機関で共有され適切な医療を受けられるよう管理されている	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	GH担当の看護師が2名おり、オンコール体制も築けている。状態の変化は日々報告し、相談も含め欠かさず連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中、退院前に医療機関に状況を確認し、当事業所に戻られてからの支援方法を考えている。また、退院前にはカンファレンスを医療機関とともに開催しアドバイス等もいただいている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療連携に伴い、重症化した場合における対応と看取りに関する指針を提示し説明している。意思確認書を必ず記入いただき、急変時には早急に対応出来るようしている。重症化した際には、医師とご家族様、職員で話し合いの場を設け、今後の対応について協議している。	実際に重度化の兆しがあった場合は再度、本人・家族の意向を確認して関係者で話し合い体制を整え穏やかに過ごせるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現状を踏まえた対応、処置の周知確認、AEDの使用を含め、情報を共有し緊急の対応に備えている。定期的に訓練を実施予定。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を実施している。そのほか、避難経路の確認や誘導方法などの確認と見直し、非常食や備品の確認もしている。	年2回の避難訓練が実施されている。近隣の法人との協力体制も出来ている。非常食や非常物品も準備され見直されている。	様々な災害を想定した避難・減災について運営推進会議等で話し合いが継続出来るといいですね。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した環境の提供、目上の方への適切な言葉遣いには常に注意している。すぐわない表現がみられた時は、その都度指導している。	入職時に接遇研修を受け、日々実践し、個人面談で振り返りを行っている。親しくなっても目上の方への適切な言葉を忘れないよう、経験豊かな職員が見本となって日々注意しあっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の話の中でも、ご本人が希望を言いやすい、決定しやすいような言葉掛けをするよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に添えるよう、時にはご家族様の協力を得るなど最大の努力を心掛けている。お一人お一人の生活習慣を理解し、その方のペースを大切にするよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容を利用している。ご本人やご家族様の希望により外部の美容室へも行っていたり支援している。また、衣類や化粧品などご家族様にご用意して頂き、好みや楽しみが継続できるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士のもと、厨房にて入居者様に嗜好に合った献立を提供している。また、準備や片付けなど、その方の能力に応じて行っている。	ランチョンマットの上に温かみのある陶器の器に盛られた食事が並ぶ。利用者とともにたこ焼きを作ったときには、包丁を見事に使う方もいて、いつもと違う一面も見られたと聞く。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に適した食事量の提供に努めている。いつでも水分補給ができるようお茶を用意したり、ご本人もちのジュース等を冷蔵庫にてお預かりし提供している。水分量の把握にも努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを通し、嚥下機能の維持に努めている。また、週1回の訪問歯科にて、歯科医師・衛生士に診て頂き、口腔内の清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本としている。毎日排泄チェックをし排泄状況を把握すると共に、オムツやパットの必要性、その方に合ったものを使用しているか等を職員間で話合っている。	チェック表を基にその方に応じた声掛けを行うことで、トイレの排泄を維持し、オムツの使用も減らすことができています。入居前に紙パンツを使用していた方が、布パンツでも安心して過ごせるようになった例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の体調を考慮しながら、週3回の乳製品の定期的な摂取をしている。適度な運動や体操をし腸の活動を促すようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	出来る限りご本人様が希望される時間帯に入浴して頂けるように心掛けている。ただし、夕方や夜間の入浴の希望には応えられていない。	本人のタイミングに合わせて、一人の職員が声掛けから入浴までを介助し、一対一でゆったりと個人の話聞くことのできる時間となっている。入居時に同性介助の希望を聞いて、希望の方には対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムの把握をもとに、その日の状態に応じて休息時間を設けるなどしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が服薬情報を把握し管理している。副作用についても理解し気を付けるようにしている。薬の変更があった場合などは、全員が理解できる様申し送りを徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	経験、特技、嗜好をいかし継続できる様支援している。毎食のメニューを書く、日記をつけるなどを日課にしておられる方もいる。買い物に行くなどの計画もたてている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望により、ご家族様付き添いのもと美容室へ行けるよう支援している。また、社会性の継続のため近くへ買い物に行き、自身で選び会計ができるよう支援している。また職員と一緒に回覧板を回しに行くなどの計画をしている。	日頃の会話の中から、外出希望をくみ取り、洋服を買いに行ったり、施設備品購入時に一緒に行き、自分の欲しいものを選んで購入するなど、外出の機会を作っている。緑豊かな中庭では日常的に外気浴や散歩を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額をご本人で管理しておられる方もいるが、基本は「立て替え」という形で支援している。職員付き添いで買い物に行った際は、自身で会計ができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ユニットに1台ずつ電話機を設置し、電話のできる環境を整えている。ご家族様やご友人からの電話の取次ぎはもちろん、希望に応じかけていただくようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	閉塞的にならない様、ゆったりとした共有スペース作りを心掛けている。中庭に面した窓は大きくなっており、天気の良い日でも、ゆっくり外を眺め気分転換がはかれるようにしている。	静かな環境が合う方、にぎやかなところがいい方、それぞれが過ごしやすい場所を提供し、ユニット間の行き来もしやすく、施設全体がゆったりと過ごせる環境にある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースは自由に使っていただけるようにしている。時にはご家族様とゆっくり会っていただけるようなスペース作りもしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染みのあるものをご家族様の協力のもと揃えていただいたり配置して頂き、これまでの生活の延長線上となり安心して過ごして頂ける様にしている。	ゆったりとした部屋に使い慣れた家具や、くつろげるソファや、仏壇などが置かれ、居心地の良いお部屋となっている。デッキのあるお部屋では何時でもデッキに出ることができ、お花を育てていた方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状態に合わせ、過ごしやすく動きやすい環境作りを心掛けている。		

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい 本年度より本格的に地域との交流を図るようにしていくが、利用者様の求めるものと計画が沿ったものであるか検討し実施する必要がある。地域とどのように関わっていけるか定期的に事業所内で話し合う必要がある。	地域密着の事業所として、地域の方々に必要とされる場所作りをし、事業所が地域の方の身近な存在となるよう取り組む。また、当事業所、入居者様が地域の一員として暮らしていけるよう、行事の参加や交流をすすんで図りたい。	地域の一員として見ていただけるよう、自治会や地域活動に参加する。5月5日、祭りがあり職員2名が神輿担ぎに参加、事業所近くを通る際には観覧し声援を送る。回覧板を利用者様と一緒に届ける事で近所の方と顔見知りになり、GHの理解にもつなげる。今後も地域の行事に協議事録を作成する前に、事前に協議内容を募る。例えば、事業所への要望・行事の立案など。先に募ることで、協議内容が明確化し会議に参加していただきやすくなる。	12ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 今年度も顔を合わせての会議ができなかった。来年度からは、顔を合わせたの会議を再開したいが、どのくらい参加していただけるか不明。再開にあたっては、先にしっかりとした案内を地域の方にもお知らせしたい。	今年度より会議を再開するにあたり、ご家族様、地域の方、民生委員、地域包括の方に参加いただき、充実した会議がなされるようにする。	指導マニュアルの作成。育成計画の作成。自己覚知・評価能力を養う為の勉強会を実施。	12ヶ月
3	13	○職員を育てる取り組み 統一したカリキュラムやマニュアルがないため、指導する者で指導の仕方が変わったり評価がバラバラであった。誰しもが同じように指導できる、客観的に評価できる仕組み作りが必要。	育成計画、マニュアルを作成し、指導係となった者が同じように指導できるようにする。客観的な評価ができるよう、上司含め全職員の自己覚知・評価能力を養う。	指導マニュアルの作成。育成計画の作成。自己覚知・評価能力を養う為の勉強会を実施。	12ヶ月
4	20	○馴染みの人や場との関係継続の支援 長くコロナの影響で、以前のような交流が途絶えてしまった方も多くおられる。ご本人の望まれる形で、馴染みの方との交流を再開できないか。また地元を懐かしむ声に応える方法はないかを探っていきたい。	コロナ前に連絡を取り合っておられた方と、また電話や手紙などで交流できるように支援する。地元など「行きたい」との声に応えたい。「今、どんななってるんやろ」との声に応えたい。	やり取りされていた年賀状や手紙と一緒に確認し連絡先が分かれば、一度手紙を出してみる。それをきっかけに、会いに来てもらったり、どこかでお会いできる機会を作る。地元の「昔」と「今」の写真や映像などを探し、みんなで見て懐かしむ機会をつくる。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

3 サービス評価の実施と活用状況

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他(②④に関してはこれから実施)
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他(①④に関してはこれから実施)
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他(これから実施)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()